

# ひらちの回覧版

VOL.6 発行者 平地 健

平成 22 年 3 月 17 日発行

## 異業種交流会に参加

先日、異業種交流会に参加させていただきました。宮城野区の様々な企業の経営者の方々や社員さんの方々 35 社の 46 名の参加者でした。恥ずかしながら弊社はパンフレットなく様々情報を組み合わせ何とか自力で作成させていただきました。その作業の中で私は、「何をアピールすればいいのだろう」と思い考えながら作業をしました。視点を少し変え参加者の皆さんを一般ユーザーさんと思えば・・・と考えると私の悩みはすぐに飛んでいきました。弊社は卸売業に位置づけられていて一般ユーザーさんとの接する機会は非常に少ない業態です。ユーザーの皆さんが一番興味を感じていただけるのは、『安い修理の提案』だと思いました。ユーザーの方々は、様々な業態（新車販売会社様、整備業者様、钣金工場様、中古車販売様、ガソリンスタンド様など様々な会社）との接点があり車検、修理などでそこに仕事を依頼すると思いましたので、その一点に絞込み話をさせていただきました。その内容は、『リサイクルパーツを使ってください』の一言でした。一般のユーザーさんが依頼をするときに、その一言を言ってくださいと。現在の車は、DIY 程度の交換できる部品は非常に少なく、また素人判断で、「ここが悪いからこの部品の交換を」と簡単に言えなくなっているのが現状です。弊社のリサイクル部品はすべて保障付です。そこには、認証工場での交換が条件です。（機能部品）などの条件があります。実際に作業をしていただく皆様のアドバイスをいただき修理をしていただく。結果お客様の満足に繋がると考えます。このような、内容で話をさせていただきました。たった 5 分の中で自社の強みをアピールすることで新たな気づきがありました。その気づきは、私たちの商品を扱ってくださる皆様のパートナー企業にならなくてはと再認識させて異業種交流会でした。

大切なお車をずっと大切に使用していただきたい



# ホームページ開設

念願のホームページが完成いたしました。今回の目的は、お客様により安心してリサイクルパーツを使用していただきたくまた、皆様が一般ユーザー様に少しでもご説明いただけるように作成させていただきました。是非ご確認ください。  
<http://www.hirachi.co.jp> 平地商会 検索

フロント担当の平地です。  
パーツの事なら、何でもお聞き下さい



## お役立ち情報

会社の数字とても大切ですね。右手にロマン左手にそろばんと聞いたくらいです。簡単な例で原価50円のお菓子を100円で販売していくらの利益があったか？と言うことだと思います。仕入れに行く交通費、販売するのに必要な経費、お店があったら固定費、少しだけお付き合いください。今回は変動損益計算書をご紹介します。と思います。

売上	変動費	
	限界利益	固定費
		経常利益

売上	総売上
変動費	売上に比例して増加するもの (商品、梱包資材など)
固定費	一定にかかる費用 (人件費、地代、リースなど)
限界利益	売上から変動費を引いたもの

この表をつくとまず自社または、その部門の現状認識がしっかりとできます。そして図を見ながら様々な戦略がたてられます。会社によって様々ですが、会社の数字をオープンにしながら社員一人ひとりが自社のことを考え議論し、働く方々が夢や希望をもてる企業になればと私個人的には思います。皆さんはどう考えますか？  
なぜ会社は、利益を出さなくてはならないか？こんなテーマで話し合うのもいいですね。

問題 会社は社会の

# 自動車リサイクル法のはじめての見直し終了

産業構造審議会、中央環境審議会の合同会議において取りまとめられた「自動車リサイクル制度の評価・検討に関する報告書」で発表されました。興味のある方は、経済産業省のホームページにありますのでご確認いただけたらと思います。今回は、抜粋して掲載させていただきます。

## 1 自動車リサイクル制度の成果

- 1) 適正処理を電子マニフェストにより常時確認(年間360万台)
- 2) 再資源化の法定目標値の早期達成 (重量ベース94%)
- 3) 不法投棄、不適正保管の減少 (16年9月末21.8万台 21年3月末1.5万台)

## 2 個別課題に対する対応

- 1) 中古自動車と使用済み自動車の明確化 (ガイドライン策定など)
- 2) 使用済み自動車の循環的な利用高度化 (リユース部品の品質、保証など)
- 3) 自動車リサイクル制度の安定的運用 (不正輸出、不法投棄など)
- 4) 中長期的変化に対する自動車リサイクル制度の対応

まとめると以上のようなことが記載されています。私たちが勉強していきたいと思います。

## 一口メモ

今回のエコカー減税で、車暦が13年以上の車を廃車にすると……

ありますが、何で車歴13年と思われたことはありませんか？ご存知の方もいらっしゃると思いますが車歴の平均は12.7年(?)小数点に自信がありませんが、となっていたからだと聞いています。近年は少しずつ車暦が伸びているようです。皆様の会社のお客様の車暦の平均はどうか？そんな視点から考えると新しい仕事づくりや戦略をたてられるかもしれませんね。私たちが考えたいと思います。

## 平地商会の歴史

弊社が今の場所に来て38年が過ぎました。私が入社した昭和63年ごろは、月150台から200台の解体をしていました。車も3台重ねの山、山でした。当時の作業服は、青のつなぎと長くつ。実はあまり好きではありませんでした。

当時の我々の業界では、積載車は無くレッカー車でした。レッカー車も市販のものは高価だったので車体整備会社さんなどをお願いをしてつくっていただきました。ちなみに弊社のレッカー車はチェーンブロックと手動ウインチを使用していました。今は、積載車があるのでとても便利ですが、やっぱり事故車等はレッカー車が便利ですね。

# おすすめの本



今年の2月に、この本の作者の坂本先生の講演を聞きにいきました。是非、皆さん読んでみてください。必ず何かを感じさせていただく一冊です。

## 編集後記

最後までお付き合いいただきありがとうございます。1月の中ごろに回覧版しばらく見てないな？とお客様からありがたい一言をいただき今回の発行となりました。3月は、年度末で皆様大変お忙しい毎日だと思いますが、お体には十分気をつけて乗り切りましょう。

皆さんは、自分の時間をどのように使っていますか？最近、走ることをはじめました。月50キロ目標でしたが、1ヶ月しか達成できていません。しかも今は、足が痛く安静にしています。自宅が、七北川の近くなので堤防沿いを走っています。何も考えず音楽を聞きながら楽しく走っています。日の出の20分～30分前は、風水的に非常に良いと言われています。なかなか起きられませんが、目覚ましはいつもそんな時間に合わせています。天気がよく日の出が見れた時は、最高の一日が過ごせます。自分の時間とても大切です。次回を楽しみにしててください。

ご感想などございましたら、弊社の誰でも結構なのでお話しください。また、私までの方はメールまたは、お会い出来たときいただければ幸いです。メールアドレス [ken@hirachi.co.jp](mailto:ken@hirachi.co.jp)

お役立ち情報の答え 会社は社会の公器